

2. 火山の概況

(平成16年7月22日～平成16年7月28日)

浅間山では熱的な活動がやや活発であった。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は1。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

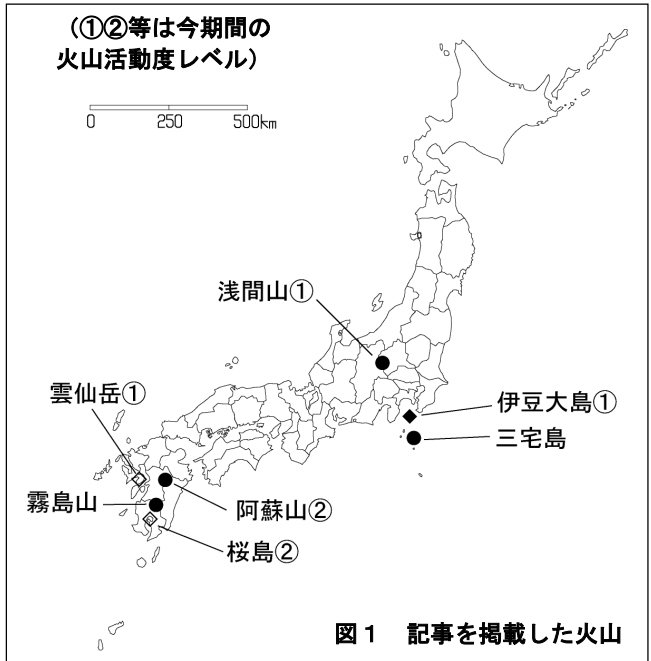


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号				
31	7/22- 7/28	①	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◇	●	●		
30	7/15- 7/21	②→①	◆	①	●	②	●	①	◇	②	◇	●	●		
29	7/8- 7/14	②	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◆	●	●	◆	◆
28	7/1- 7/7	②	●	①	●	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	▲
27	6/24- 6/30	②	●	①	◆	②	●	①	◇	②	●	●	●	●	▲

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 浅間山 [熱・噴煙・地震] レベル1 (静穏な火山活動)

28日に機動観測班が行った現地観測によると、浅間山火口内の温度は最高527℃で、昨年10月の観測結果(300℃前後)に比べると高かった。25日21時26分頃、山麓に設置された高感度カメラ(火口の南約8kmに設置)で、肉眼では見えない程度の微弱な火映が30秒程度観測された。火映が観測されたのは2002年9月以来である。また、群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでも、引き続き火口底に高温部が確認され、高温部の面積が拡大する現象も見られた。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上600mまで上がるのが観測された。

地震が26～28日に一時やや増加した。地殻変動等他の観測データには特段の変化はなかった。

◆ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動は19日(前期間)のやや多発後静かな状態で推移し、噴煙活動、地殻変動等の観測データにも特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上1,000mであった。

27日に行った上空からの観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量10,000～13,100トンで依然多い状態であった(図2)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり16～48回とやや多い状態で推移した。

1) 警視庁の協力による

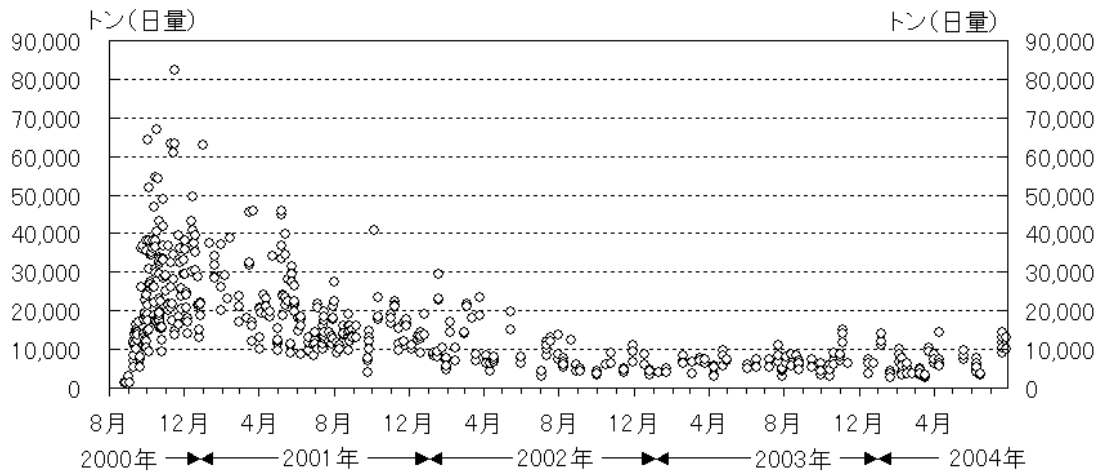


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移 (2000年8月26日～2004年7月28日)

● **阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

23日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割で、湯だまりの表面温度の最高は74℃(前回²⁾71℃)、火口壁の最高温度は302℃(前回²⁾322℃)と依然高温状態にあった。湯量は減少傾向にある。また、土砂噴出が湯だまりの中央部、南側及びその他数箇所を観測され、高さの最高は約5mであった。南西側の噴気孔からは勢いよく噴気が噴出していた。

期間中、火山性連続微動が継続した³⁾。孤立型微動は今期間641回³⁾発生した(前期間は698回)。噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上700m(前期間500m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

- 2) 前回の現地観測は7月14日に実施。
- 3) 期間中、約7時間の欠測あり。

◇ **雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● **霧島山 [噴気]**

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。25～27日に時々噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上200mであった。

◇ **桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)**

期間中、噴火はなかった(前期間もなし)。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)では降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第405号	22日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	↓(1日2回発表)	↓	
	火山観測情報第418号	28日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第38号	23日 11:00	火山活動は引き続きやや活発(湯だまりの高温状態継続、湯量約3割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、微動連続状態)。レベルは2。